



令和6年9月3日

# 生徒指導部通信

第8号

大阪府立吹田東高等学校 生徒指導部

防災意識をたかめよう！ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## 9月1日防災の日と880万人訓練によせて

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

一昨日の9月1日は防災の日で、1923（大正12）年9月1日に発生した関東大震災にちなんでいます。関東大震災は死者10万人超、経済被害は149億円（GDP比37%）で、近代災害対策の出発点になった出来事でした。始業式でもふれましたが、8月8日の宮崎県日向灘での地震で、初めて「巨大地震注意」の臨時情報が発出され、1週間にわたって継続しました。改めて巨大地震・大津波への危機意識が高まったといえます。東海から四国・九州沖に広がる「南海トラフ」（トラフ

は「海溝よりは浅くて幅の広い、比較的緩やかな斜面をもつ海底の凹地」ではこれまでに巨大地震が何度も起こっています。政府（地震調査委員会）は30年以内に70～80%の確率で発生すると予想しています。想定されている最悪のシナリオでは南海トラフの西側（西日本）でM8.9の地震（「半割れ」）が起きたあと、東側（東海～関東）でM8.6の地震が起こるとされ、この場合、大阪府では2度にわたって震度6強程度の強い揺れ、梅田や難波の繁華街にも津波が押し寄せ、最悪の場合、全国で死者は32万人、経済的損失は220兆円を超えると想定されています。大切なことは過度に恐れず、できる対策を日ごろからしておくということです。まずみなさんの住んでいる地域のハザードマップを確認しましょう。吹田東高校は、上町断層による地震の想定震度は震度6弱で、グラウンドは一時避難地に指定されています。万一、地震や洪水などの災害が起こった時、自分の命と大切な人の命をどう守るのか、今日の880万人訓練を通じて、改めて防災意識を高めてください。

### 吹田市で想定される地震による震度の予測

右の図は、吹田市で最も大きな被害をもたらす上町断層帯による地震の震度予測です。市域のほぼ全域にわたって震度6強以上、一部の地域では震度7となると予測されています。また、そのほかにも「南海トラフ巨大地震」では市全域で震度6弱と予測されています。

吹田市HPより

#### 震度と揺れの状況



##### 震度5強

- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



##### 震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



##### 震度6強

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。



##### 震度7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。